

犬を飼う前に覚えておきたい失敗しない犬の飼い方・育て方

1、失敗しない子犬の選び方

★子犬の選び方・・・何の事前情報をなしに店頭で、目が合ったから飼いました。という方が意外と多く、その後のトラブルが多く発生しています。

犬は決して悪くはありません、飼主さんの情報不足が原因です。

ポイント

① ご家族で一人でも反対する人がいましたら、とりあえず見送る事が大事です。お金の負担も含め、皆さんで十分に話し合しましょう。

【一般的な経済負担例、小型犬で、食事（ドライフード1カ月¥4,000）・健康管理（毎年ワクチン・狂犬病接種）、その他 年間7～10万位】

② イヌの寿命と今のご家族の年齢を考えてみましょう。小型犬では最近18歳を越える長寿犬も珍しくありません。

特に高齢の人が飼う時は注意しましょう。

（子犬もいずれは大人になり老犬になります。最期まで責任を持って飼育してあげられるかどうかは重要なことです。）

③ 犬種の選び方・・・近年は小型犬が多く見受けられます。いきなり店頭での出会いは避けてください。事前に犬種別躰の特徴、性格、大きさ（成犬の時の体重）など、正しい情報を良く検討してください。

④ 店頭での選び方・・・第一に健康である事（身体のチェック）毛並み・目・口・四肢・肛門・犬の性格（相性）のチェックをしてみてください。そして抱いてみて、ズッシリと重みを感じることを、慎重に選びましょう。

2、失敗しない子犬の躾

★いつ頃から始めるのがよいか・・・生後40～50日から始めましょう。

ポイント

● お母さん犬、兄弟犬との生活を十分に出来ている事が大切です。

★どんな躾が大切ですか・・・子犬の時の躾は、①トイレ②アマ咬み③食糞④無駄吠え⑤犬の制御、他。

1歳の誕生日を迎える前に全て終わらしましょう。

特にトイレの躾は、子犬が来た日から始めなければなりません。

どうしても上手くできないようであれば、早めに犬の専門家に相談してみてください。

○犬はもともと社会的な動物です。(集団の中でのルールを覚えるのは不得意ではない、のです。)

そしてペットは人間社会のルールのなかで生きていかなければなりません。

そのためきちんとした躾をすることは飼い主の義務でもあります。

ちゃんと躾されていない犬はむしろかわいそうな存在なのです。

(行儀や礼儀を知らない人間の子供も同じですね。親の責任は重いのです。)

先に書きましたように、犬は決して悪くはありません、飼主さんの情報収集、学習が大事です。

犬を飼う前に・・・、

- 1、犬に関する正しい情報を学習しましょう。(イヌの専門誌の一冊は学習しましょう)
- 2、適正飼養、終生飼養の大切さを良く理解しましょう。

【1、2を学習する事で、犬たちとのすばらしい共生が始まります。】

これから少しづつ犬情報を発信させていただきます。

それが少しでもあなたに愛犬と終生楽しく癒しのある生活をしていただくためのお役に立てることを願っています。